

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「マルチカルチャーキャンプ！！」信州在住ブラジル人の子弟と信州の子ども達との交流～
事業主体 (連絡先)	体験創庫かけはし 0263-92-1508 090-2219-2457 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当：藤村
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	828,996円 (うち支援金：415,000円)

事業内容

信州に在住するブラジル人学校の子弟と教員が、信州生まれの子ども達と野外キャンプをする中で交流を行い、生活を共にする体験を通じて国際的感覚を養う機会とする。

また関わる指導者・スタッフは信州で活躍する体験活動の指導者、及びマルチカルチャーキャンプの参加経験がある他県の指導者を中心に、今年度は塩尻地域の自然環境・施設を活かしたプログラムを盛り込み、地域活性化と相互交流のイベントとして企画実施を行った。

今年度は3年目で、安曇野・松本・塩尻とい中信地域の主だった場所で3年間実施しながら、草の根の国際交流事業として県内にPRした。



【全体写真】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

自然体験活動の機会が少ない在日(信州在住)ブラジル人学校の子供達と教員にとって、キャンプを通じた「生きる力」を育む体験をする事ができた。

さらに信州生まれの子ども達が、今年度は16名という多数参加してもらえた中で、地域における草の根の交流をすることができた。

その上で、信州で活躍する指導者が携わる事で地域における人材の活性化が促され、各人の立場で「国際交流」と「自然の素晴らしさ」に対する気づきと学びを得る機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成24年度から3年間「元気づくり支援金」の助成を受けた中で実施し、毎年場所や開催日時を模索し、プログラム内容をスタッフで検討する中で、今年度はこれまでで最も成功したキャンプといえる。信州の子ども達も16人という多数参加していただき、「また次の機会をぜひ」と子ども達のみならず保護者の皆様からお言葉をいただいたので、来年度以降もこれまでの成果を生かし、草の根の国際交流事業として継続していきたい。

【目標・ねらい】

- ①子ども達の交流
- ②地域事業者の活用
- ③地域指導者の活躍場所の提供
- ④長野県における新しい国際交流事業のモデルケース

※自己評価【A】

【理由】

参加児童も多数で、キャンプ実施中においても大いに相互交流が図られた(全員が仲良くなれた)と運営側スタッフ全員感じている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある